

略地図Ⅱ



略地図Ⅲ



(イ) 略地図Ⅱ及び略地図Ⅲについて、あとの各問いに答えなさい。

(i) 次の 中の う , え にあてはまるものの組み合わせとして最も適するものを、あとの1～4の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

略地図Ⅱの う で示した線は、本初子午線を表している。また、略地図Ⅱのcで示した線と略地図Ⅲの え で示した線の緯度は同じである。

1. う : a え : d 2. う : a え : e 3. う : b え : d 4. う : b え : e

(イ) —線②に関して、太陽光と同じく再生可能エネルギーといわれるものとして最も適するものを、次の1～4の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

1. 石油 2. 地熱 3. 天然ガス 4. 石炭

(イ) —線②に関して、次の資料Iについて説明した、あとの 中の あ にあてはまる語句を漢字2字で書き、い にあてはまるものとして最も適するものをA～Cから一つ選び、その記号を書きなさい。

資料I

今より以後、任に私財となして、三世一身を論ずること無く、みな ことごと悉に永年取ることなかれ。

律令には、班田収授の法により6歳以上の男女に あ 田とよばれる農地を支給することが定められているが、次第に農地が不足したため、朝廷は、資料Iの い という内容の法令を出して開墾を勧めた。

- A. 新たに開墾した土地について、三世代あるいは本人一代の間の私有を認める。
B. 新たに開墾した土地について、私有することを永久に認める。
C. 新たに開墾した土地について、その田地から税を徴収することを永久に禁止する。

解答 2

解答 あ 口分田 い B

(エ) 一線④に関して、次の資料Ⅱは、京都にある後醍醐天皇の住まいの近くに立てられたと伝わる札に書かれた内容の一部である。これについて説明したものとして最も適するものを、あとの1～4の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

資料Ⅱ

このごろ都にはやるもの 夜討ち 強盗 *謀^{にせりんじ}論^{めしうど}旨 早馬 虚騒動

*謀論旨：偽りの天皇の命令 *召人：囚人

1. 上皇(院)から出された命令が新たな権威をもつようになり、天皇が出した命令の多くが権威を失っている状況を示している。
2. 天皇を中心とした政治が始まったが、新しい仕組みに不満をもつものも多くおり、偽りの命令が出回り混乱している状況を示している。
3. 南と北に分かれた朝廷が、相手の命令は偽りであり、自分たちこそ正統であると主張して、互いに対立している状況を示している。
4. 幕府を倒すことについての天皇の命令が出されたため、幕府は政権を朝廷に返上するとともに、各地に早馬を走らせて事態の收拾に努めている状況を示している。

(ii) 国際連合の発足以降のできごとを説明したものとして最も適するものを、次の1～4の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

1. 北京郊外^{ベキン}における軍事衝突をきっかけに、日中戦争が始まった。
2. 大陸における日本の行動が承認されず、日本は国際連盟を脱退した。
3. ソ連との協力関係を強化しようと考えた日本は、日ソ中立条約を結んだ。
4. 北朝鮮が武力による統一を目指して韓国に侵攻し、朝鮮戦争が始まった。

解答 2

解答 4

(ア) —線①に関して、日本の憲法について正しく説明したものの組み合わせとして最も適するものを、あとの1～6の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

- a. 日本国憲法では、国会が国権の最高機関に位置づけられ、内閣は国会の信任に基づいて成立し、国会に責任を負う議院内閣制が採用されている。
- b. 大日本帝国憲法は、伊藤博文らが作成した案をもとに、貴族院や衆議院からなる帝国議会で審議されたのち、制定された。
- c. 日本国憲法では、社会権の一つとして「健康で文化的な最低限度の生活を営む権利」である生存権が保障されている。
- d. 大日本帝国憲法では、天皇について「日本国の象徴であり日本国民統合の象徴」であることが述べられている。

1. aとb 2. aとc 3. aとd 4. bとc 5. bとd 6. cとd

(イ) —線②に関して、あとの各問いに答えなさい。

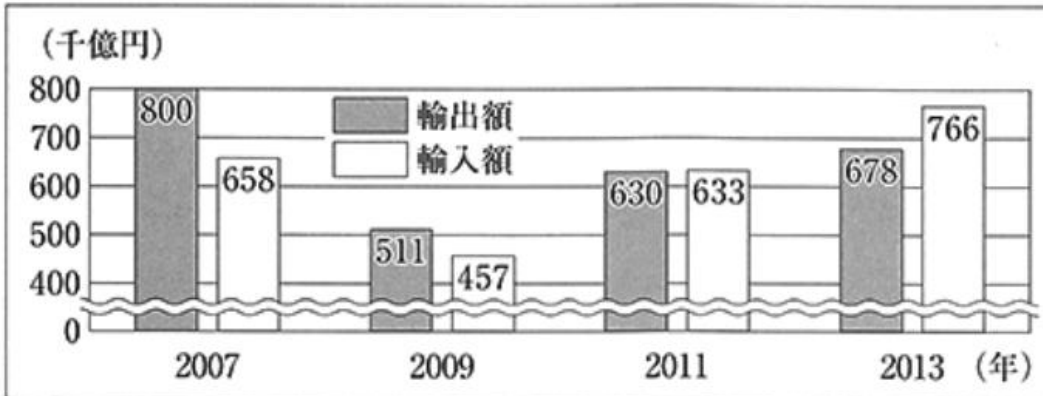
- (i) 「新しい人権」について説明した、次の 中の あ , い にあてはまるものの組み合わせとして最も適するものを、あとの1～4の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

日本国憲法に直接の記載はないが、環境権などの「新しい人権」が主張されている。1999年には、「新しい人権」の一つとされる あ を保障するため、い に対して情報の開示を請求することを認める情報公開法が制定された。

1. あ：知る権利 い：行政機関の長 2. あ：知る権利 い：企業の代表
3. あ：請求権 い：行政機関の長 4. あ：請求権 い：企業の代表

- (ii) 次のグラフは、2007年～2013年における日本の輸出額と輸入額の推移を表したものである。あとのa～dのうち、このグラフから読み取れるものの組み合わせとして最も適するものを、1～4の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

グラフ



(財務省ウェブサイト掲載資料をもとに作成)

- a. 2009年は、2007年に比べて貿易黒字の額が小さくなっている。
- b. 2009年は、2007年に比べて貿易赤字の額が小さくなっている。
- c. 2013年は、2011年に比べて貿易黒字の額が大きくなっている。
- d. 2013年は、2011年に比べて貿易赤字の額が大きくなっている。

1. aとc

2. aとd

3. bとc

4. bとd